

# 第3回 生物多様性フォーラム

平成29年 **3月18日(土)**

13:30~16:30(受付開始13:00)

情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ BBスクエア

参加  
無料



基調講演 **フィールドノートから始まる生物多様性**  
— 生きものリストを未来へ —

講演者 **秋山 幸也 氏** 13:35~14:35

相模原市立博物館学芸員(生物担当)。生態学と環境教育を専門として、NPO、NGO や自治体などの要請により、全国各地で観察会とその指導者向けの講習会を展開する。また、地域生物相、特に植物相や鳥類相を調査記録、蓄積する活動に参画し、神奈川県版レッドリストの選定にも携わる。著書：「アマガエルのヒミツ」、「生きものつかまえたらどうする?」、「はじめよう! バードウォッチング」ほか



事例報告① **水田で生活する鳥たち**  
— ケリの繁殖事例など —

講演者 **大川 庫弘 氏**

14:55~15:15

NPO法人みんなでつくる自然史博物館・香川 運営委員。日本野鳥の会香川県支部会員 香川県レッドデータブック鳥類 調査・執筆担当。



ケリ

アキアカネ



事例報告② **水田の水生昆虫類**  
— なぜ、減ったのか? —

講演者 **高木 真人 氏**

15:20~15:40

NPO法人みんなでつくる自然史博物館・香川 理事。昆虫写真家。主に日本各地のトンボや鳥類を撮影。香川県レッドデータブック昆虫類 調査・執筆担当。



事例報告③ **水田のエビの仲間**

講演者 **金森 正博 氏**

15:55~16:15

丸亀市教育委員会。元中学校教員(理科)。主に干潟の甲殻類を調査。香川県レッドデータブック 甲殻類 調査・執筆担当。



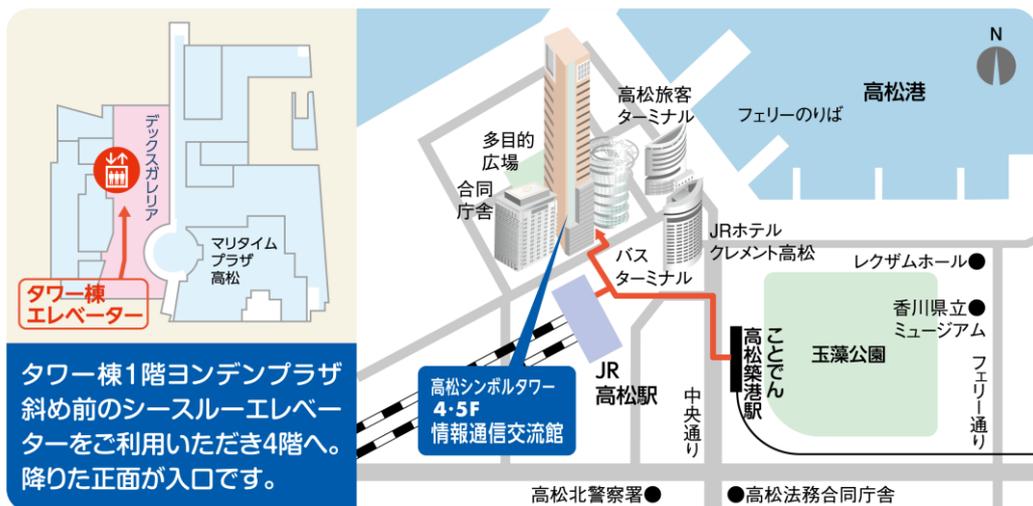
ホウネンエビ

# 生

# 物多様性とは何だろう?

潤いどにぎわいの拠点  
んぼから考える

# 会場のご案内



● JR高松駅から 徒歩 約1分

● ことடன்高松築港駅から 徒歩 約3分

★ 無料駐車場はありません。  
お車でお越しの方は 地下の有料駐車場等をご利用ください。

## お申し込み方法

参加ご希望の方は、お名前（フリガナ）、電話番号をご記入の上、ハガキ、ファクシミリまたは Eメールのいずれかにてお申し込みください。なお、当日受付もごさいます。

【ハガキ】 〒760-0008 高松市中野町23番2号 香川県森林組合連合会館2階  
NPO法人みんなでつくる自然史博物館・香川 事務局 宛

【FAX】 087-813-4933

【Eメール】 minnadetsukuru@lime.plala.or.jp

申込締切 平成29年 3月10日（金） 必着

定員 150名

参加申込書

ふりがな			
代表者の お名前	連絡先・電話番号 ( )		
同伴者の お名前	同伴者の お名前	同伴者の お名前	同伴者の お名前
同伴者の お名前	同伴者の お名前	同伴者の お名前	同伴者の お名前

※ご記入いただきました個人情報、は、厳重な管理のもとに、本シンポジウムに関してのみに使用いたします。  
※団体・グループ単位でのお申込みの場合は、電話番号は代表者(他の参加者へ連絡できる方)のみで結構です。